

平成31年第2回松阪市教育委員会定例会会議録

平成31年2月20日（水）教育委員会室

議題

- 議案第7号 松阪市就学等に関する規則の一部改正について
議案第8号 松阪市飯高B&G海洋センター条例施行規則の一部改正について
議案第9号 松阪市立幼稚園に在籍する園児の預かり保育に関する規則の一部改正について

報告事項

1. 平成31年度教育費当初予算案について
2. 平成30年度1月児童生徒の問題行動等について
3. 第7回松阪市スポーツ賞授賞について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	鷺 尾	節 子
委員	竹 内	一
委員	長 島	彩 子
委員	岡 田	光 生

出席事務局職員

局長	松名瀬	弘 己
次長	伊 藤	卓 哉
教育総務担当参事兼教育総務課長	青 木	俊 夫
公民館マネジメント担当参事兼 生涯学習課長	藤 武	利 文
国体推進担当参事兼国体推進室長	山 口	真 澄
飯南飯高教育環境連携担当参事兼 西部教育事務所長	久 世	徹
学校教育課長	有 瀧	弘 晃
学校支援課長	萬 濃	正 通
子ども安全・安心担当監	小 泉	恵 希
子ども支援研究センター所長	野 田	幸 範
松阪公民館担当監	永 田	明 美
スポーツ課長	松 林	正 人
スポーツ施設管理担当監兼管理係長	水 本	博
国体推進室担当監	井 田	精 一
中部台管理事務所長	中世古	雅 男
給食管理課長	上 山	孝 一

北部教育事務所長
健康福祉部こども局こども未来課長
産業文化部文化課文化財担当監

中 村 雅 一
谷 中 靖 彦
松 葉 和 也

午後1時30分開会

○教育長

ただ今から平成31年2月第2回松阪市教育委員会定例会を開催いたします。
なお、傍聴の申し出がございましたので、私の方で許可をいたしました。ご報告を申し上げます。

○教育長

それでは、事項書に従いまして、進めさせていただきます。
議案第7号「松阪市就学等に関する規則の一部改正について」の提案理由を事務局から説明願います。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、質疑、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質疑なしと認めます。よって、これより討論に入ります。
討論はありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

討論なしと認めます。よって、採決に入ります。
議案第7号を可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(委員の挙手)

○教育長

挙手全員でございます。よって、議案第7号は原案どおり可決いたしました。
続きまして、議案第8号「松阪市飯高B&G海洋センター条例施行規則の一部改正について」の提案理由を事務局から説明願います。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、質疑、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質疑なしと認めます。よって、これより討論に入ります。
討論はありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

討論なしと認めます。よって、採決に入ります。
議案第8号を可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(委員の挙手)

○教育長

挙手全員でございます。よって、議案第8号は原案どおり可決いたしました。

続きまして、議案第9号「松阪市立幼稚園に在籍する園児の預かり保育に関する規則の一部改正について」の提案理由を事務局から説明願います。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、質疑、意見はございませんか。

◆委員

この中で様式ですが、先ほどの議案第7号「松阪市就学等に関する規則の一部改正について」の中で氏名を名前に変更するなどの改正をされましたが、この規則についても同様に変更することはできないのでしょうか。

◎事務局

様式につきましては、市独自のものですので、議案第7号と同様の対応をさせていただきます。

○教育長

他に、質疑、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質疑なしと認めます。よって、これより討論に入ります。

討論はありませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

討論なしと認めます。よって、採決に入ります。

議案第9号を可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(委員の挙手)

○教育長

挙手全員でございます。よって、議案第9号は原案どおり可決いたしました。

議案が終了いたしましたので、報告事項に入ります。報告事項につきまして、事務局から説明願います。

(事務局説明)

○教育長

ただ今の事務局の説明に対し、ご質問、ご意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

ご質問、ご意見がないようですので、報告事項1から3は、承認したいと思います。いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしということでございますので、報告事項1から3は、承認いたしました。

報告事項が終了いたしましたので、その他の項に入ります。委員の方々からその他の項で何かございませんか。

◆委員

質問をさせていただきたいのですが、放課後児童クラブは、健康上のチェックとか緊急時の対応ができる校医とか園医に相当するような医療機関との契約というのは交わされているのかということと、それが松阪地区医師会を通して委託されるものなのか。

実は、ある放課後児童クラブから私の方に契約の打診があったのですが、それぞれのクラブが契約をしているものなのか現状を教えてください。

◎事務局

放課後児童クラブにつきましては、松阪市内に36クラブございます。私どもの方針といたしましては、公設民営という形で施設の設置、整備は市が行いまして、運営については、保護者会が主体となって行っていただき、それに対して補助金を交付するという形になっております。委員がおっしゃった契約関係につきましては、現状では、全て各放課後児童クラブの判断でされております。36のクラブの中で8つ程、連絡協議会というのを組織されているのですが、いろんな負担もあって減少傾向にございます。そのようなことから、市が中心となってまとめていくのかについても今後、検討をしていきたいと考えております。

○教育長

運営上、校医的なものを置かなければならないという規則的なものがありますか。

◎事務局

風水害等に対応するために各クラブで危機管理マニュアルを定めております。市がマニュアルを示してということではなくて、あくまでも放課後児童クラブで独自にされておりますので、現状としては、管理や把握ができていない状況でございます。

○教育長

他に、何かございませんか。

◆委員

1月に掛川市へ視察に行っていました。掛川市の教育施策等大変勉強になりました。それとあわせて、実績のあるフルマラソンについてもいろいろ教えていただいて、更に大変だなという実感を持って帰ってきました。その後、準備委員会の方では何か進展はありましたでしょうか。

◎事務局

掛川市へ「掛川新茶マラソン」ということで視察に同行をさせていただきました。その時の内容をご紹介します。掛川新茶マラソンについては、フルマラソンが、5,000人の規模の大会で、他に10キロ、5キロ、3.5キロ、ファミリーランや1キロのファンランをサブ種目としている大会です。このマラソンを企画、運営しているのは、掛川市体育協会で、職員6人が実行委員会の6つの専門委員会の担当をしているとのことでした。実行委員会は、委員長は、体育協会会長で、体育協会の役員や協賛企業の役員、医師会、自治会連合会など53人で構成されておりました。また、6つの専門委員会につきましては、競技、交通、駐車場、催事・式典、救護、給水の各委員会というものでした。開催当日の運営スタッフとしては、競技役員277人、市職員100人、体育協会職員22人、交通規制等警備としては、警察47人、警備員73人、交通指導委員63人、体育協会の各団体からボランティア302人、救護関係として、医師や看護師等で47人、警備以外のその他のボランティアとして1,188人、合計で約2,000人とのことでした。また、それ以外で沿道の応援と

してコース上の自治会に協力をお願いしているとのことでした。参加ランナーとしては、今年度4月15日の第13回大会では、総エントリー数7,576人で、市内789人、県内4,030人、県外3,546人で市外からの参加者が大半を占めていました。その中で日帰りか宿泊しているかのデータはないとのことでしたが、静岡県から4,030人、愛知県から2,066人、神奈川県から368人と、鉄道や車でのアクセスが良いことから近隣の県からの参加者が多くなっています。協賛の募集状況については、体育協会と付き合いのある企業を毎年訪問して、協賛金や協賛品をいただいているということでした。ただ、以前は、ヤマハやキリンビールなど大きな協賛企業がありましたが、ラグビーチームやサッカーのスポンサーになったこともあり、協賛企業が減っているということで、以前から事業費も減っているとのことでした。事業費としては、約6,000万円で、参加料収入が約3,800万円、協賛金収入が約800万円、掛川市の補助金が900万円というものでした。その他、交通規制の周知方法やPR方法、などたくさんの項目について教えていただき、今後のフルマラソンの開催に向け参考とさせていただきたいと考えております。現在は、開催準備委員会ですが、来年度早々には、開催実行委員会に変えていきますので、当初予算に2,200万円ほど計上しておりますが、救護であったり警備であったりとさまざまな計画を作っていく一番大事な年度になると思っております。現在の進捗状況は、コース案を考えているところで、アンケートや市民からの意見等も踏まえながら警察ともやり取りを行っておりますが、今年度内には、コース案を完成させて、新年度初めの実行委員会で承認をいただき、そのコースを元に来年度しっかりと計画を進めていきたいと思っております。あと、準備委員会では、開催基本計画ということで以前にご説明いたしました。第2回の準備委員会でいただいた意見等を反映させて、また、視察等で得た情報も含め最終案を現在作成中で、2月22日の第3回準備委員会で承認をいただくという状況です。

○教育長

他に、何かございませんか。

◆委員

松阪あゆみ特別支援学校は、1年が経ち、2年目の来年度の人数がかなり増えるというのを聞いたのですが、学校が定着してきていて増えるのか、また違った要因があるのか、わかれば教えていただきたい。

◎事務局

あゆみ特別支援学校への入級ですが、本年度は教育支援委員会を臨時も含めて計6回開催をしております。その中で特別支援学校判定となった場合、学校を通じて保護者の方にも説明をして就学先を決めます。具体的な数字についてはまだ確定しておりません。

○教育長

特別支援学校とはいろんな連携を取っています。以前は、特別支援学校か地域の学校か迷ったときに地域の学校というのが多かったです。何故かという、その子が将来地域の祭などに行ったときに「あれ誰」と言われるのではなくて、地域の中にいたら「〇〇ちゃん」と声をかけてくれる。特別支援学校へは中学校を卒業してからというイメージがあったんですが、交流なども行われたり、障害者差別解消法等のこともあって雇用という観点からも特別支援学校への入級希望が全県下的に増えているよ

うな状況というのがあります。

○教育長

他に、何かございませんか。

◆委員

フルマラソンのことですが、私も掛川市へ視察に行かせていただいて、実際には準備が大変だなと感じたのですが、これから組織づくり、スタッフ、コース等いろいろ協議をしていただくとお思います。先日の津シティマラソンに吉田沙保里が来て、人が多く集まったということや、掛川市でも谷川真理が来ているなど、やはりアスリートに来てもらうのも人を集めるのに大きな効果があるとお思いますので是非お願いしたいとお思います。それから今日の新聞にスマートフォンなどの学校への持ち込みを文科省が認めるということや最終的には学校や教育委員会の判断となることなどの報道が出ておりました。今まで、スマートフォン等の使い方等につきましては、正しい使い方の教育などをされてきているとお思います。やはり保護者も敏感に反応するとお思います。昨日もテレビで放映されておりましたが、スマートフォンを頻繁に使用していると若くても認知症を発症しやすいとか姿勢の問題などが出ておりましたので、そういったことも含めまして、もう一度教育委員会として、いろんな方々の意見も聞きながら保護者、子どもたちも含めて、正しい使い方や注意点を啓発していただきたいとお思います。

○教育長

他に、何かございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

他には、ないようですので、事務局から「その他の項」で何かありませんか。

第12回美し国三重市町対抗駅伝について報告
松浦武四郎記念館の臨時休館について報告

○教育長

ただ今の事務局の説明に対してご質問等はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

ご質問等は、ないようでございますので、事務局から次回の定例会の日程報告をお願いいたします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、3月19日火曜日、午後1時30分から教育委員会室で開催いたしますのでよろしくお願ひいたします。

なお、この日は、教育委員会定例会終了後、午後3時から総合教育会議の開催を予定しておりますのであわせてよろしくお願ひいたします。

○教育長

それでは、これで平成31年2月第2回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後2時15分閉会